

# 令和3年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R3-7)

施策名	目標3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む。)					
施策の概要	固定発生源及び自動車等からの排出ガスによる大気汚染に関し、大気汚染に係る環境基準等の達成状況の改善を図り、大気環境を保全する。また、酸性雨や黄砂等の広域大気汚染の影響を含む大気環境の状況をよりの確に把握するため、人の健康の保護と生活環境の保全の基礎となる評価・監視体制の整備、科学的知見の充実等を進める。					
達成すべき目標	大気汚染に係る環境基準達成率の向上、降水酸性度の減少等を図り、大気環境の保全を図る。					
施策の予算額・執行額等	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	2,301	2,289	2,287	1,928
		補正予算(b)	162	0	0	
		繰越し等(c)	▲162	162	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	2,301	2,451	(※記入は任意)	
	執行額(百万円)	2,196	2,293	(※記入は任意)		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	○第五次環境基本計画(平成30年4月17日閣議決定) ○自動車NOx・PM総量削減基本方針(平成23年3月25日閣議決定)					

測定指標	全国の一般環境大気測定局における大気汚染に係る環境基準達成率(%)	基準値	実績値					目標値	達成	
		年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	-年度		
		-	別紙のとおり					集計中	100	△
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/		
	全国の自動車排出ガス測定局における大気汚染に係る環境基準達成率(%)	基準値	実績値					目標値	達成	
		年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	-年度		
		-	別紙のとおり					集計中	100	△
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/		
	大都市地域における自動車排出ガス測定局における大気汚染に係る環境基準達成率(%)	基準値	実績値					目標値	達成	
		年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	-年度		
		-	別紙のとおり					集計中	100	○
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/		
	我が国の降水中pHの加重平均値	基準値	実績値					目標値	達成	
		年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	-年度		
		-	4.86	4.89	4.86	4.96	集計中	5.6	×	
		年度ごとの目標値	/	-	-	-	-	/		
	アスベスト大気濃度調査において、10本/L未満で石綿が検出された地点数の割合(%)	基準値	実績値					目標値	達成	
		年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	-年度		
		-	100	100	100	100	100	100	○	
		年度ごとの目標値	/	100	100	100	100	/		
全国の継続測定地点における水銀の指針値達成率(%)	基準値	実績値					目標値	達成		
	年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	-年度			
	-	100	100	100	100	集計中	100	○		
	年度ごとの目標値	/	100	100	100	100	/			

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり  (判断根拠) ○全国の大气環境基準の達成状況については、光化学オキシダントの環境基準達成率が依然として極めて低いが、微小粒子状物質(PM2.5)の環境基準達成率は近年改善傾向がみられる。その他の大气汚染物質については、概ね高い達成率で横ばいになっている。 ○自動車NOx・PM法対策地域内の二酸化窒素の令和2年度の環境基準達成率は、一般局、自排局ともに100%(令和元年度達成率:一般局100%、自排局:100%)であり、近年達成又はほぼ達成となっている。また、浮遊粒子状物質の令和元2年度の環境基準達成率は、一般局、自排局ともに100%であり、近年達成又はほぼ達成となっている。 ○我が国の降水のpHは今年度改善がみられるものの、引き続き酸性化した状態にある。 ○建築物解体現場等42地点において石綿による大气汚染の状況を調査したが、石綿濃度が10本/Lを超えた地点はなかった。 ○全国の継続測定200地点において水銀の指針値を超過する地点はなかった。
	施策の分析	
	次期目標等への反映の方向性	

学識経験を有する者の知見の活用	○国内の光化学オキシダント対策について、令和4年1月の中央環境審議会大気・騒音振動部会において審議を受け、光化学オキシダント対策ワーキングプランを策定した。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	○各年度 大気汚染状況報告書(環境省) ○越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画(環境省 平成14年3月策定・31年3月改訂)
---------------------------	---

担当部局名	水・大気環境局 総務課 大気環境課 環境管理技術室 自動車環境対策課	作成責任者名	福島健彦(総務課長・自動車環境対策課長) 太田志津子(大気環境課長) 鈴木延昌(環境管理技術室長)	政策評価実施時期	令和4年8月
-------	--	--------	---	----------	--------

